

科目名	地域福祉論1（社会福祉士必修）				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	岡崎 達也				
内容および計画	本講義では、地域社会の変化によって生ずる地域生活課題とその対応策を考察し、地域福祉の基本的考え方、展開、動向についての理解とともに地域福祉の主体と対象を考えていきます。さらに、「共生社会」の意味を理解し、地域共生社会の実現に向けた様々な取り組みについて社会福祉協議会で実践してきた事例を紹介しながら学んでいきます。				
1	オリエンテーション、講義の進め方について				
2	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題①～地域社会の概念と理論について				
3	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題②～地域社会の変化についての認識および課題整理				
4	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題③～地域生活課題の現状とニーズの把握				
5	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題④～社会的孤立・社会的排除の現状理解とその対応策の考察				
6	地域福祉の基本的考え方①～地域福祉の概念を構成する要素とは				
7	地域福祉の基本的考え方②～欧米や我が国の地域福祉の源流の内容および歴史の変遷の内容と時代背景について				
8	地域福祉の基本的考え方③～地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について				
9	地域福祉の基本的考え方④～地域福祉の推進主体とは何かについての理解とその役割の実際				
10	地域福祉の基本的考え方⑤～地域住民の主体形成とその方法である福祉教育について				
11	地域共生社会の実現に向けた多機関協働及び各種施策①～地域共生社会の構築とその実現に向けた方法とは				
12	地域共生社会の実現に向けた多機関協働及び各種施策②～多機関協働を促進する仕組みについて				
13	災害時における総合的かつ包括的支援体制①～非常時や災害時における法制度及び総合的かつ包括的支援体制について				
14	地域福祉ガバナンスと多機関協働①～ガバナンスの考え方および求められる専門職としての役割について				
15	地域福祉ガバナンスと多機関協働②～多機関協働の意義や仕組みの理解				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集	中央法規	9784805882368	2021
講師作成プリント及び自治体等発行のパンフレット等を適宜配布します。					
参考書	①都築光一（2018）『地域福祉の理論と実際』建帛社 ②「地域福祉から未来へ」編集委員会編・原田正樹監修（2012）『地域福祉から未来へ 社協職員 3.11』全国コミュニティーライフサポートセンター ③『社会福祉小六法』（出版社は問いません）、その他講義中に紹介します。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	学習成果レポート（1000～1200字）				80
	小課題レポート				20

学習到達目標	<p>①地域社会の多様化・複雑化した地域生活課題について述べることができる。</p> <p>②地域福祉の基本的な考え方・歴史・動向について説明することができる。</p> <p>③地域共生社会の実現に向けての基本的考え方を論ずることができる。</p> <p>④地域福祉ガバナンスと多職種及び多機関協働の意義と実際について説明することができる。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	授業の進捗状況および講師の日程調整等により授業計画を変更する場合があります。